PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

58-206909

(43) Date of publication of application: 02.12.1983

(51)Int.CI.

G01B 21/20 G01B 11/24

(21)Application number: 57-076906

(71)Applicant: YOKOGAWA HOKUSHIN ELECTRIC

CORP

(22)Date of filing:

07.05.1982

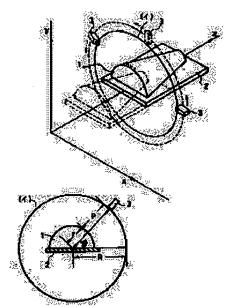
(72)Inventor: SUMI AKIRA

(54) MEASURING DEVICE FOR OPTIONAL SHAPE OF OBJECT

(57)Abstract:

PURPOSE: To obtain the precise information on the shape of an optional object easily by measuring the distance between the outside circumferential surface of said object which passes in the device and a sensor disposed circumferentially on the outside thereof continuously and automatically with said sensor.

CONSTITUTION: An object 1 to be measured is placed on a transparent bed 2, and a distance sensor 3 is rotated on the circumferential line (a) around the same. The distance P up to the object 1 is measured without contact from the time when the reflected light of the pulse–like ray generated by the sensor 3 is detected in the sensor 3. Since the bed 2 is transparent, the laser light of the sensor 3 is not interrupted. The bed 2 is moved at a sufficiently low speed along the z–axis in parallel with said operation. As a result the sensor 3 rotates around the object 1 spirally and measures the distance P in each part. The distance P and the angle θ obtained from an angle sensor are conducted to an arithmetic circuit, which converts the



same to coordinate values x, y, adds the value in the z direction from the moving mechanism of the bed 2 and makes the data on the coordinates x, y, z of the outside surface of the object 1. A computer performs graphic processing, etc. in accordance with such input information.

LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of

rejection]
[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]
[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(9) 日本国特許庁 (JP)

①特許出願公開

⑩公開特許公報(A)

昭58-206909

⑤Int. Cl.³
G 01 B 21/20
11/24

識別記号

庁内整理番号 7517-2F 7517-2F ❸公開 昭和58年(1983)12月2日

発明の数 1 審査請求 未請求

(全 4 頁)

効物体の任意形状測定装置

顧 昭57—76906

②出 額 昭57(1982)5月7日

20特

の発 明 者 須見彰

武蔵野市中町2丁目9番32号株 式会社横河電機製作所内

⑪出 願 人 横河北辰電機株式会社

武蔵野市中町2丁目9番32号

砂代 理 人 弁理士 井出直孝

1 4

ee ## ##

1. 発明の名称

物体の任意形状御定装置

2 特許請求の範囲

(1) 被測定物を所定位置に支持する支持手段と、 この被測定物の外側の円周線上に位置してその 円周線上の各位置と上記被測定物外面との間の円 周匱径方向の距離を非接触的に測定する距離測定 手段と

上紀距離測定手段の円周線上位置の情報を発生 する位置情報発生手段と、

上記円周線が作る平面と直交する方向に上記被 側定物と上記距離側定手段との位置を相対的に変 位させる手段と、

上記距離郡定手段からの距離情報と上記位常発 生手段からの位置情報とにより得られる上記被罚 定物の外形情報を外部に送出する手段とを備えた 物体の任意形状測定装置。

(2) 距離測定手段は、一つの距離センサが円周線

に沿つて回転するように構成されたことを特象と する特許線の範囲第(1)項に記載の物体の任業形 北測定集像。

- (5) 距離測定手段は、円周線に沿つて多数個固定 的に配置された距離センサにより構成されたこと を特数とする特許請求の範囲第(1)項に記載の物体 の任業形状測定接置。
- (4) 上記支持手政が円周線の作る平面に面交する方向を軸として回転することにより、円周線上の位置と被翻定物外面との間の面径方向の距離を制定できるように構成されたことを特徴とする特許請求の範囲第(1)項に記載の物体の任意形状態定義
- (5) 距離測定手段がレーザ光を被測定物に反射させることにより光学的に距離を測定するものであることを特徴とする特許請求の範囲第(1)項ないし期(4)項のいづれかの項に配載の物体の任意形状制定装置。
- (4) 距離測定手段が放射線を被測定物に反射させるととにより距離を測定するものであることを特

徴とする特許請求の範囲第(1)項ないし第(4)項のい づれかの項に記載の物体の任意形状測定装置。

5. 発明の詳細な説明

[発明の展する技術分野]

本発明は、三次元物体の形状情報を自動的に測定してこれを C A D (Computer Aided Deeign) 接置等に送出する物体の任意形状測定装置に関するものである。

(従来技術の説明)

自動車やその窓がラスなどの設計では、マアップ等イナがその外形をクレイモデルやモンタに、とか多い。しかとでは、なってエンジニアが設計するに使しています、これらクレイモデル等の外形のいく、そのでは、これらクレイモデル等の外形のいく、その形がのでは、そのでである。しかし、このとかったないである。しかし、このではなっているのでは、特に物質を必要とする場合はないのである。

〔寒粕例による説明〕

第1 図は本発明実施例装置の原理図、第2 図は 第1 図中の円周線(小に沿う断面図である。

第1図において、たとえばクレイモデル等の被 御定物1は、透明なベット2上に軟置され、との ベット2は3軸上を前後に移動するように構成さ れている。

上述の距離センサ3による御定距離Pと角度セ

さらてある。

(発明の目的)

本籍明は、物体の任意形状を精密かつ自動的に 測定して、外部形状の測定に要する多大を時間と 労力を節減できるようにした物体の任意形状測定 装置を提供することを目的とする。

[発明の要点]

ンサによる測定角度 θ とは、 第 3 図に示すように 演算回答 5 に導びかれ、ととで、

 $x = r \cos \theta = (R - P) \cos \theta$

 $y = r \sin \theta = (R - P) \sin \theta$

ただし、Rは円周銀(1)の半径、

ェは感傷原点から被御足物外面ま での距離、

の変換複類がなされる。そして、ペット2、を 2 軸方向に前接動させる機構 6 からは 2 軸位 横情報に対応する 2 値が送出されるようになつていて、 との 2 値は上述の x、 y 値とともに C P U 8 の制卸によつてデータベース 7 に移納されるように 2 D でれる。 データベース 7 の格納 データは、 C P U 8 の指令により出力端子 9 を介して外部に 2 出される。

次に、上述のように構成された装置の動作を説明する。

被側定物1を透明のベット2の上に載せ、その 周囲の円周級(1)上に距離センサ3を回転させて、 距離センサ3から被測定物1までの距離Pを距離

4668年58-206909(3)

センサ3が発生するパルス状の光線と、この光線 の反射光が距離センサ3に受光される時間により 非接触で測定する。ベッド2は透明であるため距 雌センサ3のレーザ光が遮断されるととはない。 この動作とともに、ベッド2をs軸に沿つて距離 センサ3の回転速度より十分に差い速度で移動さ せる。との結果、距離センサ3は被翻定物1の周 題をら縁上に回つて各部の距離 P を御定すること になる。この距離センサるから得る距離 P および 角腰センサ 4 から得る角度 θ を資真回路 4 に導び いてとれを前述のように坐標値ェ、すに変換し、 これにベッド移動機構 6 からの 8 方向の 個を加え て、被測定物1の外面の座標(ェ、ァ、8)デー **ょとしてテータベース7に格納し、必要に応じて** 出力機子9を介してコンピュータに自動的に入力 する。コンピユータは、これらの入力情報に善づ いて図形処理等を行う。

本発明装置は、上述の実施的装置の他に次のように構成することもできる。

(1) 距離センサとして光学的手段の他に放射器

等を利用したものを用いる。 この場合にはベッドの材質としては放射線等が透過されるものを用いる。

- (2) 被測定物を敷置するベッドの代りに、被測 定物を前後から挟んで支持するなどの他の支 持手段を用いる。
- (3) 距離センサとして、第4回に示すように円 扇部上に沿つて多数のセンサ部10を配列し、 これらのセンサ部10を順次に走査することに より被測定物の外面形状を測定するように保 配する。
- (4) ペッドを s 軸に沿つて前後に移動させる代 りに、距離センサの方を s 軸に沿つて前後に 移動させるように構成する。
- (5) 距離センサを円周線に沿つて回転させる代 りに、ペッドに被測定物を固定してそのペッドを8 軸を回転軸として回転させるように構 成する。
- (a) 距離センサの円間線上を回転する部品としては発光素子と受光素子のみにし、受光素子

からの反射光を距離に変換する装置は他の位 費に設けるように構成する。

[効果の説明]

本深明は、上述の構成・作用によるものであるから、任意の物体の外局形状を遊続的かつ自動的に都定することができ、多大な時間と労力を要す。 、ことなく物体の物密な形状情報を得ることができる。

4. 図面の簡単な税明

銀1図は本発明実施例装置の原理図。

第2図は第1図中の円周線化に沿り折面図。

年 5 図はデータの演算処理を行う部品のフロック書成図。

単4 図は他の実施例後世の距離センサ構成図。

1 … 被削足物、 2 … ベッド、 3 … 距離センサ、4 … 角度センサ、 5 … 演算回路、 6 … ベッド移動機構、 7 … チータベース、 8 … C P U。

等所出数人 株式会社 横河 配根製作所 代理人 弁理士 井 出 值 季

